

玩具のAR (拡張現実) 什器導入開始！ 『ドミノワールド 建設シリーズ』発売と同時にスタート！ おもちゃの店頭プロモーションとしてAR什器を導入開始します

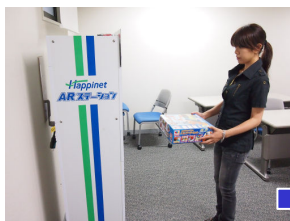
株式会社ハピネット

株式会社ハピネット（本社：東京都台東区、代表取締役社長：苗手一彦）は、新商品『ドミノワールド 建設シリーズ』の発売にあたり、AR（拡張現実）を用いた店頭用什器の導入を開始します。ARの開発スタジオであるキャリオット株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本茂樹）が提供しているARソリューションを使ったもので、『ドミノワールド 建設シリーズ』を発売する7月28日（土）より、首都圏を中心とした玩具店、量販店・家電量販店の一部玩具売り場で、試験展開を開始します。

今回設置するAR什器は、『ドミノワールド 建設シリーズ』のパッケージをカメラの前にかざすと、モニター画面上のパッケージの上に同商品の3Dアニメーションが表示され、どのように遊ぶものなのかわかるようになっていきます。おもちゃの場合、商品を買わないと内容がわからないものが多いため、買い控えの要因となっていることが、販売店や玩具メーカーの悩みのひとつでした。しかし、AR什器を使用することで、商品の遊び方を、簡単に、楽しく遊ぶような感覚で伝えることができるようになります。

キャリオット(株)のARプロジェクトディレクターのティモシー・サリバン氏は「私たちはこのプロジェクトとプロジェクトの持つ高い可能性に興奮しています。AR什器を体験した人々の驚きの顔は、ARが人々を魅了する力を持ち、人々に新しく魔法のような何かを提供し、結果として彼らを購入に導くことを証明した」と語っています。

今後の玩具業界の販促ツールとしてARの利用を拡大し、最先端技術と玩具のコラボレーションという新しい販促プロモーションを実施していこうと考えています。



パッケージを手に取る



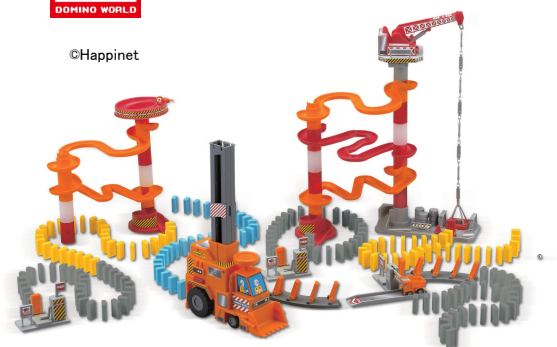
カメラにかざす



中身を3Dで表示



©Happinet



『ドミノワールド 建設シリーズ』は、ドミノ牌を並べて倒す、という基本的な遊びに、ドミノ牌が上手く倒れることで作動するギミックや、鉄球が転がり落ちるスロープなど、アクション装置が加わったおもちゃです。

※ 今回のARは、ドイツのMetaio GmbHの技術を使用しています

ドミノワールドオフィシャルフェイスブックページ → <http://www.facebook.com/#!/DOMINOWORLD.HAPPINET>

■ 本件に関するお客様からのお問合せ先
ハピネットお客様窓口 0120-755-995(10~17時 土日、祝日を除く)

■ 設置店舗、AR什器及び商品の内容に関するお問い合わせ先
株式会社ハピネット トイ・オリジナルユニット 担当：酒葉佳代子
TEL：03-5828-6351 FAX：03-5828-6353 e-mail：sakaba@HSN.happinet.co.jp